

平成18年第2回小金井市教育委員会臨時会議事日程

平成18年6月9日(金)

午前9時00分開会

| | | | |
|----------------|---|--|--|
| 開催日時 | 平成18年6月9日 | 開会 9時00分 閉会 9時20分 | |
| 場 所 | 小金井市役所第二庁舎 801会議室 | | |
| 出席委員 | 委員 長 伊東 浄堯 委員長職務代理者 亘理千鶴子 委 員 菊地 邦夫 | 委 員 伊藤 恒子 教 育 長 谷垣十四雄 | |
| 欠席委員 | | | |
| 説明のため出席した者の職氏名 | 教育部長 本多 龍雄 教育部次長 石川 明 兼生涯学習課長 庶務課長 尾上 明彦 学務課長 福田 協司 指導室長 富士道正尋 指導主事 風見由起夫 指導主事 浜田 真二 | 公民館長 中嶋 登 図書館長 古屋 雅裕 体育課長 林 文男 庶務課長補佐 小野 朗 兼庶務係長 | |
| 調 製 | 副主査 山内 和子 | | |
| 傍聴者人数 | 0名 | | |

| 日程 | 議 題 | |
|-----|---------|---|
| 第 1 | | 会議録署名委員の指名 |
| 第 2 | 報 告 事 項 | 1 学校給食の民間委託について 2 平成17年度児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果について 3 その他 |

開会 午前9時00分

伊東委員長 ただいまから平成18年第2回小金井市教育委員会臨時会を開催する。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、互理委員長職務代理者と菊地委員にお願いする。よろしくお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊東委員長 日程第2、報告事項になる。順次担当の方からご報告をお願いします。

本多教育部
長 学校給食の民間委託について、お手元に資料を配らせていただく。1の学校給食の民間委託について、これについて詳しく報告させていただきます。学校給食の業務の見直しについては、平成7年2月に小金井市が行政診断をし、その調査報告書の中で学校給食の民間委託等に関する提言をいただいている。その後、平成9年9月には小金井市行財政改革市民会議の中で学校給食の民間委託等を検討する必要性が指摘されている。それで、平成13年10月29日に公募市民を入れた小金井市学校給食検討委員会を設置し、学校給食の充実等について総合的な検討を諮問した。その後、論議が白熱して平成15年3月27日に答申をいただいている。その中で、効率的な運営については、委託及び直営の両論併記という形になりまして、ここでは結論が出ていなかったため、市の庁内に学校給食検討委員会を設置し、そこで本質的な運営について議論していただいた。ここでは、調理業務の民間委託に際して不安視されていた給食の安全性と質の問題については、文部科学省の学校給食衛生管理の基準の遵守及び契約事項や仕様書等で十分確保できること、また、財政効果を見込まれる点からも学校給食の民間委託を行うことということで決定された。これを受けて、平成16年の10月19日に市の行財政再建推進本部へその旨報告した。これからの課題を解決するためには、行政経費は内部努力により可能な限り削減し、行政需要に応えていく必要があるということで、学校給食の調理業務に関しては、平成17年9月に中学校2校を、検討期間を置いて平成19年4月に残りの中学校3校の民間委託化を提案し、行財政再建推進本部で承認されている。これを受けて、市の方としては、この民間委託は

労働条件に関わるものなので、労使合意を基に進めたいという考え方があるので、平成16年10月26日から職員団体との労使協議に入り、この間、色々と議論を重ねてきたところである。今回、6月7日にひとつの職員団体と合意を取り付けることができた。これにより中学校の給食についての民間委託を今年の9月から進めていく形になったので、本日報告させていただくことになった。それでは、資料のほうにいくと、1の経緯については、全体の行財政改革とか教育委員会の方針に基づいて学校給食の調理業務について民間委託を行うという結論になっている。当面は中学校給食の調理業務の民間委託ということで考えており、組合とも合意したので、今回は中学校給食の調理業務を委託するという形である。3の実施時期については平成18年9月から2校委託し、残りの3校については順次計画的に実施するということである。4の9月から実施する実施校であるが、第一中学校及び第二中学校の2校である。それに伴って、5の保護者説明会につきましては中学校全校で実施します。日程につきましては、表のとおりとなっている。6の保護者等への広報については、市報6月15日号及び市のホームページに掲載して広報する予定である。

亙理委員長
職務代理者 保護者説明会には、市からどのような方が出るのか。学校側からも校長先生達は出るのか。

本多教育部
長 こちらとしては、教育委員会事務局。学校側としては、校長先生に出席をお願いしたいと考えている。

伊東委員長 小学校については。

本多教育部
長 市のほうとしては、当面、中学校の学校給食でということ考えている。

菊地委員 予算措置のほうは。

本多教育部
長 予算措置のほうについては、当初予算のほうに2校分計上している。なぜかという、始め18年の4月から実施する予定でしたので、当初予算に2校分は計上済みである。

伊東委員長 平成7年からスタートし、具体的には平成9年から約10年位かかってここまでたどり着いた長い道のりだったような気がする。本来ならもっと早く決めて進めていくべきだったのではないかと思うが、たとえば平成16年の9月には試験的に始まるというようなことを教育委員会の席上で質問し、お答えいただいた経緯があったかと思う。それから2年。その中には色々と交渉とか市民の意見とかそういうものも必要かもしれないし、いろんな問題があったんだとは思っている。

今までのことは皆様のご協力に感謝している。そして、これから1つ業者を選ぶということが出てくるが、それについては、また十分慎重にさせていただきたいと思う。特に、民間委託になってよかったと思えるような、うちの学校も民間委託にして下さいと言われるような業者を是非選んでいただきたい。市内ではないが、ある学校は、一度スタートした会社が別の会社が変わったということがある。一回業者を選択したら、正解ということではないが、長く続けられるような、皆さんに喜ばれるような、そうした業者選定を行っていただけたらと思う。それからもう一つは、その後である。中学校2校ということでスタートするが、その後どう進めていくのか。平成16年9月から変わって、また調理の方の新規採用も留意するとなるとますます遅れてしまうのではと懸念される。ある程度計画を立てて、これからの民間委託化というものを考えていっていただきたい。以上、2点願います。ご異議あるか。

(委員一同異議なしの声)

伊東委員長 それでは、報告事項の2番目に移ります。平成17年度児童生徒の学力向上を図るための調査について願います。

風見指導主事 平成17年度児童生徒の学力向上を図るための調査の結果について報告する。資料2を見て欲しい。この調査は、平成17年1月に小学校5年生、中学校2年生を対象におこなわれたものである。調査の趣旨は、児童生徒一人一人の確かな学力の定着を図ること。各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善、充実にいかすことを目的としている。結果として、都全体の平均点は全体にあがってきている。小金井市の児童・生徒も頑張ってきた。小・中共にたいへん高いところに位置している。どの教科も大変高い正

答率となっている。今後、この調査結果をもとに、各小中学校で授業改善推進プランの見直し、修正を行っていく。以上である。

伊東委員長　　今回資料を拝見して素晴らしい成績だと高く評価したいと思っている。その中で、確かに全体の平均は上がっているけれども、英語当たりが上位の数字と小金井市のが少し差があると思うが、それについて今後どのようにしていくのか。これから考えるのかもしれないが、何かあったら願います。

富士道指導室長　　ご指摘いただきました点については、各学校に資料を配布している。各学校ごとに何が足らなかったのか、また、何が足りていたのかをしっかりと確認させまして、足りなかったところは、指導法の工夫、また教材の提示の仕方等含めまして、さらに外国人指導員 AET を導入しておりますので、その関連もしっかり図りながら向上を図る点で努力してまいりたいと思う。

伊東委員長　　ありがとう。次にその他について庶務課長願います。

庶務課長　　防火シャッターの取扱いについて報告する。すでに新聞等でご案内のことと存じますが、6月7日の水曜日に新潟県の公立小学校において、1年生の男子児童が、降りてきた防火シャッターと床との間に首の辺りを挟まれて意識不明の重体というような事故が発生した。同様の事故については、平成16年6月3日に埼玉県の小学校で、また、平成10年4月14日にこれも埼玉県の小学校で発生している。これまでの本市の安全対策の状況ですが、平成16年の事故発生時に東京都教育委員長から各市教育委員会に、事故の再発防止を図る通知がなされた。同通知には、防火シャッターによる事故防止の徹底を図るため、現・文部科学省等が作成したガイドラインも添付されており、これに基づいて、本市の各小中学校も安全対策を講じている。対策の1点目であるが、平成10年から各小中学校においては、防火シャッターが降りる廊下の部分に注意を促すシール「シャッターが降りたらくぐらないこと」ということで貼っている。シールの文字が見えなくなっているものもあるので、張替え等を実施した。2点目は、シャッターの非常用手動レバーを覆うアクリル製カバーであるが、これが外れてしまったことで平成16年の事故が起こっているが、これの外れてしまったものの取替えとか、設置等

を図っているところである。また、生徒児童への防火シャッターの構造や危険性に関する知識の普及、特に小学校低学年児童による事故が多発していることから、小学校低学年での安全指導の必要性について各校長に依頼をしているところである。今回の事件を受けて、改めて昨日、市立小中学校全校の防火シャッター等の点検をしている。本日も引き続き点検を行って、適切に対応していきたいと考えている。本日開催される臨時校長会にも改めて事故防止に対する安全指導をお願いしたいと思っている。以上かかる安全対策を講じるとともに、今後も引き続き事故再発防止に勤めて、安全管理に勤めていきたいと思う。

伊東委員長 それでは、本日の審議はすべて終了した。これをもって平成18年第8回小金井市教育委員会臨時会を閉会する。ありがとう。

閉会 午前9時20分